

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年 11月 17 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473900573		
法人名	サン・クローバー瀬戸田		
事業所名	グループホームももの樹		
所在地	尾道市瀬戸田町名荷522番地		電話0845 27-2866
自己評価作成日	平成26年10月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3473900573-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年11月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>・事業所は地域密着型サービス事業所を常に意識し、自治会に入り地域の行事、活動、ふれあいサロン他に参加させて頂き、地域の皆様、利用者、職員が交流を図れるように努めております。</p> <p>・1人ひとりの尊厳を大切に、利用者、家族の意向を尊重しながら、「一緒に、ゆっくり、楽しく」生き生きと生活していただけるように利用者に合わせた介護計画を考え、楽しみや役割を持ち、生活出来る様に支援しています。</p> <p>・瀬戸田町、因島町の地域密着型サービス事業所との連携を図っており、情報共有、地域啓発、勉強会、介護相談など地域の皆様、利用者、家族の方々により身近な事業所となるように活動しています。また、職員が働きやすい環境づくりや育成をおこなっており、特に事業所内研修は各職員が指導担当をおこなうことにより、向上心、やりがいを持てる環境づくりに努めています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>当事業所は、民家と果樹園に囲まれ、すぐ先には穏やかな瀬戸の海に因島が浮かぶ自然豊かな環境下、広い敷地に複合型福祉施設の1部として平成17年開設の平屋建て1ユニットのホームである。個室、リビング共に広く、ゆったりとした環境の下で利用者と職員は共に和気あいあいと笑顔溢れる日々を過ごされている。ホームの特徴として①地域にしっかりと根差し相互に活発な交流が見られる。②運営推進会議に多くの方が参加され様々な角度からの意見交換が行われ、有意義な会議となっている。③ケアマネージャーと職員の方々とのチームワークの良さと真摯な業務の取り組みが特に目立つ事業所である。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事務所、休憩室、リビングに掲示し実践するように心掛けています。毎年度、事業計画・目標・運営方針・個人目標を設定することにより、理念への意識が向上するようにしています。また設定のみに終わらないように設定前には前年度の評価をおこなってから考えています。	理念を事業所内（数か所）に掲げて何時でも職員が確認出来るようにし、周知徹底を図っている。又、理念に基づいて事業計画、運営方針、個人目標を策定し、毎年計画や目標の達成度を評価・検証する事により理念が実践に繋がるよう取り組んでいる。	参考：事業所理念 「個性を活かす」 「心を動かす」 「人と人をつなぐ」 利用者・家族・地域にとってのオンラインになる
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域密着型サービス事業所を常に意識し、自治会に入り地域の行事、活動、ふれあいサロン 他に参加させていただき、地域の皆様、慰問での訪問の皆様と利用者、家族、職員が交流を図れるよう努めています。	管理者は自治会役員の方々と親密に交流され、利用者・職員も地域行事に積極的に参加して地域住民の方々と顔なじみの関係が出来ている。又、毎月1回「ももの樹便り」を回覧板で閲覧して頂き、事業所への理解を深めると共に「介護：ワンポイントアドバイス」として情報提供を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎月広報誌「ももの樹便り」を回覧させていただき事業所の近況報告だけでなく、介護アドバイスを掲載すると共に相談受付の電話番号記載しています。また運営推進会議では認知症についての勉強会を毎年開催して理解を深めていただけるように努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	参加者は地域の役員・民生委員・包括支援センター・利用者・家族・職員で意見や助言をいただきながらサービスの向上を図っています。市への参加依頼は毎回していますが、開催時間や離島ということもあり出席できていない状況です。その為、事業所では毎回、議事録を提出して確認していただいています。	運営推進会議は、地域包括の職員・民生委員・地域代表・利用者・家族・職員と多彩なメンバー構成で、地域の現況や事業所運営等について意見交換が行われ事業所運営に活かされている。地域住民、利用者、家族、職員については複数の方が参加され様々な意見が伺える。又、市担当者の参加による指導・助言を得られるよう現在取り組まれている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	疑問に思うことや相談は電話や市に向向いて助言や指導していただいています。	市の担当者とは、現在閉鎖中の施設利用について相談した事を契機に緊密な関係が出来て種々の相談や質問にも懇切丁寧な対応が伺える。事業所と市担当者とは好ましい協力・信頼関係が構築されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルを作成し、毎年事業所内研修を開催し、研修報告書を各自提出、職員全員が身体拘束をしない共通意識を持って取り組んでいます。問題が発生した時は家族を含めて話し合い検討しています。</p>	<p>全職員を対象とした身体拘束に関する勉強会が年1回行われ、現在は身体拘束は行われていないが、「止むを得ず拘束を行う場合は1週間毎に見直す」とした事業所のマニュアルも定められている。言葉による身体拘束についても職員相互で指摘して、原因の追求と対策が話し合われ細心の注意を払っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>マニュアルを作成し、毎年事業所内研修を開催し、研修報告書を各自提出、職員全員が共通意識を持って取り組んでいます。見過ごすことのなうように職員間で話しやすい環境づくりに努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>マニュアルを作成し、毎年事業所内研修を開催し、研修報告書を各自提出し、理解を深めるようにしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>分かりやすいように説明しています。不安な事や疑問に思っていることは契約時のみではなく契約前や契約後も何時でも相談を受けるようにし、安心して利用していただけるように支援しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居時に、意向を把握したり、面会時には話しやすい雰囲気に努め家族が気軽に話せる環境づくりにしている。情報は連絡帳にて共有し反映させています。また毎月の広報誌送付時には、個別に職員より近況報告を添えています。今年度は運営推進会議で提案された安を基に行事を開催しました。</p>	<p>「よりよい施設になるよう、ご意見、ご要望を、お気軽にお聞かせ下さい」と表示した用紙を玄関に置き、日頃の面会時や家族親睦会、運営推進会議等の機会を捉え家族の意見聴取を図ると共に、利用者からは日々の交わりから意見・要望を聞き運営に反映するよう取り組まれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員間でのコミュニケーションは良好で職員定着率も高いです。その為、話しやすい環境です。毎日9時・16時30分の申し送りやスタッフ会議では職員の意見や提案を聴き、反映させています。</p>	<p>介護支援専門員を中心に職員のチームワーク、及び職員各位の業務に対する姿勢は高レベルで、お互いに助け合いながらも切磋琢磨し、常に利用者・家族の事を思い活発な意見交換が行われている。</p>	<p>代表者・管理者は職員の意見や要望に耳を傾けるよう心がけているが、忌憚のない意見が出やすく、今以上の組織の活性化の為に組織体制の構築と役割・権限の付与等について検討される事を期待したい。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の努力、実績、向上心を把握し昇給に努めています。随時、希望や悩みを聴き働きやすい環境づくりに努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>事業所内研修時、職員が順次研修指導者を務め、資料作成、当日の指導をすることにより、意欲を持てるように支援しています。研修後は各自研修報告書を提出し、研修内容を振り返ることにより、再度確認しています。外部研修後はスタッフ会議にて伝達研修をおこない、研修内容を共有しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>瀬戸田、因島地区の地域密着介護サービス事業所（シーボート）との連携を図っており、情報共有・地域啓発・研修会・介護相談・懇親会・行事の参加等の活動を積極的におこないサービスの向上に努めています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に何度か面接をおこないます。その中で初期のアセスメントをおこない。疑問に思うこと、不安に思うことを聴きながら安心し納得して入居していただけるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前に利用者と共に何度か面接をおこないません。その中で困っていることや、不安に思っていることを傾聴しながら意向を聴きます。何時でも相談に応じられる体制にしており安心して利用開始できるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居申し込み時に現在心身の状態、困っていることなどを聴き必要であれば他のサービスや他の介護サービス事業所を紹介しています。介護保険制度や介護サービスについても分からないことは説明しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	状態を把握して全て援助するのではなくその人、その人のできることを職員と一緒にこなっています。（例：洗濯干し・洗濯畳み・掃除・食器拭き・テーブル拭き・野菜の皮むき 他）手伝っていただいた後は「有難うございます」の感謝の言葉を伝え役割を持ちいきいきと生活できるように支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	介護計画書原案作成時には心身の状態を説明し、意向を聴いています。日頃の面会時にも気軽に話せる雰囲気をつくり相談しながら家族と共に支えていくように支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	個別支援に努めています。地域の行事やふれあいサロンや外出援助には職員が付き添っています。	地域行事、歌声喫茶、ふれあいサロン等に出かけ馴染の方々との交流をはかり、思い出の場所へは職員の支援を受けて出掛ける等、利用者と馴染の人や場所との関係維持・継続のための取り組みが為されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	1人ひとりの状態を把握しながら職員が会話に入り利用者同士の関係が良好になるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	看取り介護によりサービスが終了することがほとんどです。最後にアルバムを作成し思い出の作品を持参し職員は葬儀に出席させていただいています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	介護計画書原案を作成時に思いや希望、意向を聴いています。また日頃より話を傾聴し把握するように努めています。困難な方は家族に聴いています。	利用開始時の面談や利用後の利用者とのコミュニケーションを図るなかで、本人の意向把握に努めると共に、家族からの情報も参考としている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に利用者、家族、担当ケアマネジャーに聞きながら生活歴及びアセスメントを作成、入居前にカンファレンスを開催し、入居時には職員は状態及び状況を把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の関わりの中で、できる事、出来ない事を把握しながら支援しています。職員全員が、状態の把握ができるように、気づいたことなどは記録以外にも連絡帳に記入し、就業前に連絡帳で確認、その後申し送りをおこなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリング後センター方式にて計画作成担当者として介護職員がアセスメントを一緒におこないその中で利用者、家族に意向や希望、困ったことを聴くようにしています。その後、介護計画書原案を作成しカンファレンスにて検討、修正し利用者、家族に同意をいただき実践しています。</p>	<p>センター方式によるアセスメントを基に担当職員と介護支援専門員とで原案を作成し、全職員及び関係者に提示して意見を求め計画の検討・修正が為されている。3カ月に1回のモニタリング会議、6カ月毎（必要時にはその都度）の計画見直し、特に計画作成時の1カ月間は全職員への介護計画の周知徹底が図られている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人記録は24時間で記録しています。申し送りは9時・16時30分と2回おこなっています。就業前には連絡帳を確認し状況を把握、確認し実践や介護計画書の見直しをおこなっています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者に応じたニーズに対応しながら支援しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事には利用者の状態に合わせて職員が付き添い参加しています。地域のふれあいサロンには毎月参加しています。このようなことにより地域の皆様と馴染みの関係が築かれており、外出時にも気軽に声をかけていただくことが多いです。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医療機関の医師、看護師が定期的に来診にきていただいている他、希望により入居以前のかかりつけ医に家族付添にて受診されているかたがおられます。特変時は家族、主治医に相談しながら対応しています。往診・受診後は「受診記録」「連絡帳」「個人記録」に記録し情報の共有と状態の確認をおこなっています。</p>	<p>従来から利用のかかりつけ医との関係を継続できるよう支援している。遠方から入居の利用者、施設や病院からの利用者については、協力医が定期的に訪問診療を行う等、家族と職員間で密接な連携を図りながら適切な医療支援が行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医療機関の看護師に相談しています。訪問時には情報提供しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には介護サマリーにて情報を提供しています。入院中は電話や面会にて、情報交換しています。退院時はカンファレンスの開催及び退院時サマリーにて連携を図っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時に家族の意向を聴いています。重度化した場合は意向を再び確認し看取り介護を希望された時は「看取り指針」「介護職員にできる事・出来ない事」を管理者、計画作成者が書面にて説明し「看取り介護同意書」にて確認しています。主治医には家族、事業所が看取りについて説明し協力を得ています。</p>	<p>入居時に重度化した場合の取り組みについて事業所の指針を提示し、利用者・家族に説明している。看取りが必要な状況に至った場合は、医師・家族・職員と話し合い、介護計画に則って相互に緊密な連携を図りながら支援し、これまでに5例の看取りを経験している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>定期的に事業所内研修を開催し「救急救命・AED使用方法・事故防止・事故発生時の対応・誤嚥発見時の対応・転倒、転落時の対応」を再度確認しています。また消防訓練時にも消防士にAED使用方法・心肺蘇生法を指導していただいています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回消防訓練をおこなっています。その内1回は消防署による総合訓練をおこない「通報訓練・避難訓練・消火訓練」をおこない指導していただいています。地域の方々には運営推進会議や回覧による広報誌「ももの樹便り」にてお知らせし方が一の協力をお願いしています。</p>	<p>避難訓練は夜間想定1回を含め年2回実施され、消防署の参加・指導も受けている。尚、①社内連絡網・役割の見直しと近隣の協力体制構築②地域ぐるみの津波対策③職員の非常時における対応能力の習得の3点について更なる災害対策の深堀に取り組みされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	定期的に事業所内研修にて「認知症・プライバシー保護」基にその人その人に合わせた声かけや対応をおこなうように努めています。	社内研修や職員間の注意喚起等を通じて、利用者の人格を尊重した対応、及びプライバシーの確保は徹底されている。利用者に関する記録・書類の管理及び職員間で交わす利用者に係る会話には特に留意した細かな配慮が行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	「しましょう」ではなく「しませんか」と声かけし、出来る限り本人が自己決定できるように支援しています。また介護計画書を作成時は意向や希望、困っていることなどを聴くようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その人そのひとの状態やペースを把握し、出来る限り一人ひとりに合わせた支援をおこなっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	化粧セットを用意しています。利用者同士で化粧をされています。化粧をされると皆さん笑顔がみられ大変喜ばれています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	その人そのひとの状態やペースを把握し、野菜の皮むきや下ごしらえ・和え物・食器拭きなど様々なことを職員と一緒にこなしています。手伝っていただいた後や食す時は「有難う・助かったよ・手伝ってくれて美味しいよ」などの声かけをおこない役割を持って生活出来るように支援しています。	利用者の嗜好を盛り込んだメニューに従い近所で買った食材や敷地内の畑で出来た野菜を使って職員が調理している。食事の準備や後片付け等は利用者も加わり、利用者と職員が一体となり、和気あいあいとした雰囲気の中で話も弾み、笑顔も溢れ楽しそうな食事風景が見られた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量・水分摂取は毎回、24時間個人記録に記録し把握して不足のないように努めています。また摂取しやすいように一人ひとりの状態に合わせた食器や形態にしています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>アセスメントや日頃の状態を把握し口腔ケアをおこなっています。特に食事介助が必要な方は誤嚥性肺炎防止に努めています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>24時間個人記録により排泄の支援をおこなっています。定時のトイレ誘導以外にもその方に合わせた支援をおこなっています。失禁時も自尊心を傷つけないようなさりげない声かけと介助をするように心がけて支援しています。</p>	<p>排泄記録を活用し、排泄のパターン把握と利用者の表情や動作から声掛けを行いトイレでの排泄を支援している。又、各種のパッドや紙パンツを選別して、利用者にとって最適な物を活用し、体調や下肢の状態についても留意して排泄の自立に向けた支援が行われている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事は旬の物を取り入れて職員がすべて作り置きすることなくその都度手作りしています。排便チェック表により便の状態、量を把握し便秘時には主治医に相談して指示を得て下剤の管理をしています。家族にも状態は伝えています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>職員と1対1の個別入浴をおこないプライバシー保護に努めています。重度化されている方はリクライニングチェアにて職員2人で介助し安全、安楽に入浴出来るように支援しています。季節によっては柑橘を浴槽に入れて楽しんでいただいています。</p>	<p>一般家庭にある浴槽にて、利用者の状況に応じ1～2人介助、リクライニングチェアを使用したシャワー浴等により個別の入浴支援が行われている。又、入浴を拒否される利用者についても、少なくとも週3回は入浴出来るように入浴剤を使用したり、声掛けの工夫に取り組まれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	利用者の状態を把握してベッドの高さや介助バーを工夫しています。重度化されている方はエアーマットを使用しクッションにて安楽な体位を整え定時に体位交換しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	毎回、受診記録を記入し把握しています。処方箋は個別に保管して症状の変化や薬の変更及び効能、副作用を把握しています。服薬介助は確実に服用できたか嚥下するまで確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居時に家族に生活歴を教えていただき職員は入居時には把握して不安感なく過ごしていただけるように支援しています。日々の気づきや様子は記録や申し送り、連絡帳により情報の共有をおこないその方に合わせた支援をしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの状態を把握し安全に外出出来るように支援しています。「散歩・地域の行事・ふれあいサロン・誕生日の夕食・喫茶 他」その方に合わせた支援をおこなっています。	日常的に、近隣の御地藏さんにお参りしたり、散歩を兼ねて行きつけの喫茶店に出かけ、時には車を利用して花見、外食、NPO法人主催のイベント、多くの人々が集う場所に出かける等、利用者の希望に沿った多彩な外出支援が行われている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	現在は認知症が重度の方が多いため、お金の所持はありません。外出支援時など必要な時は事業所が立て替えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>携帯電話を持参されている方がおられ家族や知人に電話をされています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングには職員と利用者が一緒に作成した壁面飾りや手作りのカレンダーを掲示しています。その中で季節を感じていただいています。天気の良い日はウッドデッキで一緒に洗濯を干したり、お茶を飲みながら過ごしていただいています。</p>	<p>リビングは高い天井と天窓から差し込む陽の光で明るく解放感に満ちていた。併せてリビングに繋がるウッドデッキ、6畳の畳の間等は利用者が思い思いに揺ったりと寛げ、手作りカレンダーや折り紙等の作品が季節感を醸し、トイレも男性用のトイレが設置される等、ゆとりと居心地の良さを堪能出来る共用空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングでは、一人ひとり落ち着いて過ごせる居場所がありますので、安心してゆっくり過ごせるように支援しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>事業所ではベット・洋服箆箭・整理箆箭・エアーマットを完備していますが入居申し込み時や入居時に馴染みの家具や道具を持参されることは可能であることを説明しています。皆さん家族の写真や作品など思いの物を置いておられます。</p>	<p>広い部屋には、ベッド、洋服ダンス、整理ダンスが備え付けとなっていて、利用者は愛用品や使い慣れた物、家族の写真等を自由に持ち込み、日常生活に於いて不自由を感じる事無く、整理整頓が行き届いた居心地の良い居室で毎日を過ごせるようになっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの状態を把握し、ベットの高さ・椅子の高さ・ポータブルトイレの配置・ベットの配置 他「安心・安全・安楽」に生活出来るように支援しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームももの樹

作成日 平成27年 1月 5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災の強化。	夜間の防災強化。	緊急の連絡網と基本から改めて考え直す。見直す際に消防署さんと連携を深める。	8ヶ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。